



# 桜丘小たより

= 笑顔に会える学校 =

令和2年1月31日

第 12 号

枚方市立桜丘小学校

校長 中村 尚

<http://www.city.hirakata.osaka.jp/site/sakura/>

TEL 050-7102-9028

## わたしは言葉の力を知りました

ことば つかいかた いみ ちがって わだい こまーしゃる しりました  
言葉って、使い方の意味が違ってくるなあということを話題になっているコマーシャルで知りました。

せいぶ こまーしゃる おおずもう えんほう しゅつえん えんほう りきし しんちょう  
「西武そごう」のコマーシャルで、大相撲の炎鵬が出演しています。炎鵬という力士は身長1

たいじゅう99KG おおずもう ちいさく たいじゅう いたって まくうちりきし へいきん 160KG  
68cm、体重99kgという大相撲では身長も小さく、体重に至っては幕内力士の平均が160kg

ぜんご あつどうてき かるい いちのじょう りきし しんちょう たいじゅう  
前後ですので圧倒的に軽いのです。ちなみに、逸ノ城という力士は身長192cm・体重

224KG えんほう さき ばしょ 8しょう7はい 勝ちこしました  
224kgほどだそうです。それでも炎鵬は先の場所では8勝7敗で勝ち越しました。

えんほう ことば つぎ  
さて、その炎鵬にかけられる言葉というのが次のものでした

だいぎやくてん おこりうる  
大逆転は、起こりうる。

ことば しんじない  
わたしは、その言葉を信じない。

きせき おこらない  
どうせ奇跡なんて起こらない。

ひとびと むせきにん いう  
それでも人々は無責任に言うだろう。

ちいさなもの おおきなあいて たちむかえ  
小さな者でも大きな相手に立ち向かえ。

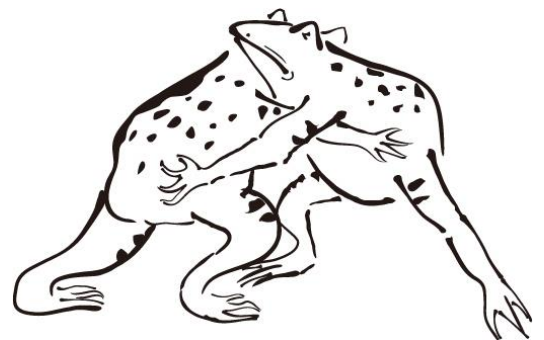
だれ ちがうはっそう くふう くし たたかえ  
誰とも違う発想や工夫を駆使して闘え。

いま じぶん つらぬく  
今こそ自分を貫くときだ。

かんがえかた ばかげて  
しかし、そんな考え方は馬鹿げている。

かちめ しょうぶ けんめい  
勝ち目のない勝負はあきらめるのが賢明だ。

なすすべ おしこまれる  
わたしはただ、為す術もなく押し込まれる。



どひょうきわ ぜったいぜつめい  
土俵際、もはや絶体絶命。

ぶんしょう えんほう きもち ぶんしょう じゅんばん  
この文章では炎鵬はあきらめの気持ちしかつたわってきません。しかし、この文章の順番を  
ぎやく  
逆にすればどうでしょうか？

どひょうきわ ぜったいぜつめい  
土俵際、もはや絶体絶命。

なすすべ おしこまれる  
わたしはただ、為す術もなく押し込まれる。

かちめ しょうぶ けんめい  
勝ち目のない勝負はあきらめるのが賢明だ。

かんがえかた ばか けて  
しかし、そんな考え方は馬鹿げている。

いま じぶん つらぬく  
今こそ自分を貫くときだ。

だれ ちがうはっそう くふう くし たたかえ  
誰とも違う発想や工夫を駆使して闘え。

ちいさなもの おおきなあいて たちむかえ  
小さな者でも大きな相手に立ち向かえ。

ひとひと むせきにん いう  
それでも人々は無責任に言うだろう。

きせき おこらない  
どうせ奇跡なんて起こらない。

ことば しんじない だいぎゃくてん おこりうる  
わたしは、その言葉を信じない。大逆転は、起こりうる。



じゅんばん いれかえた おなじぶんしょう えんほう きもち まえむき  
どうです？ 順番を入れ替えただけで、同じ文章なのに炎鵬の気持ちはとても前向きにな  
おなじことば つかうたいみんぐ じゅんばん まったくいみ  
っていますね。同じ言葉でも、使うタイミングや順番で全く意味がかわってきますね。これこそ  
ことば ちから かんじました ことば たいみんぐ はつする  
がわたしは言葉の力だと感じました。みなさんには、言葉をどんなタイミングで発するのか。その  
ことば ぜんご いみ はなし ながれ いしき えらんだことば つかって おもいます  
言葉の前後の意味や話の流れをしっかりと意識して選んだ言葉を使ってほしいと思います。

## ひらかたしか いみ しろう 枚方市歌の意味を知ろう!

そつぎょうしき うたうひらかたしか かし ねん しょうわ ねん せいいてい すこし  
卒業式などで歌う枚方市歌の歌詞は 1947年(昭和22年)に制定されましたので、少し  
むずかしいことば かんたん いみ せつめい いみ して  
難しい言葉もあります。そこで、簡単ではありますがその意味を説明します。意味を知ってし  
うたいましよう  
っかりと歌いましようね。

# 1番

ながれ おおよど みず めぐみ ほうこうらい いくひやくねん  
 流れはつきめ 大淀の 水の恵みの あまねぎに 豊公以来 幾百年  
 さかえ よよ かさねつつ いま へいわ きょうど ひらかたし  
 栄えを世々に 重ねつつ 今はつらつと ひらけゆく 平和の郷土 枚方市

よどがわ ながれ みず めぐみ ひろがって  
 淀川の流れはとまることはなく、その水のもたらす恵みはすみずみまで広がっている。  
 とよとみひでよし かいはずいらい なんびやくねん はんえい つみかさねて  
 豊臣秀吉による開発以来、何百年も繁栄を積み重ねてきた。

いまげんき かいはず すすんで へいわ ひらかたし  
 今元気いっぱいの開発が進んでいる 平和なふるさと それが 枚方市

# 2番

けいはんにと なかば ゆいしよ ふるき な きよく ひとわせば  
 京阪二都に 半ばして 由緒も古き 名どころや ながめも清く 人和せば  
 かんこう きやく あと み ひ つき しんこう ぶんか きょうど ひらかたし  
 観光の客 跡たたず 見よ日に月に 新興の 文化の郷土 枚方市

ひらかたし きょうと おおさか ふるくから れきし ゆうめい ばしよ  
 枚方市は京都と大阪のちょうどあいだあたりにあって、古からの歴史もあり有名な場所  
 ふうけい うえしみん なかよくちから あわせればりょこう たのしむひと  
 です。風景もさわやかであり、その上市民が仲良く力を合わせれば旅行を楽しむ人も次々とやってくる。

ごらん まいにち まいつき はってん ぶんか ひらかたし  
 ほらご覧なさい、毎日、毎月あらたに発展している文化のあるふるさと それが 枚方市。

# 3番

いちぼうじゅうり ゆたか てんよ さち さんぎょう いえさかえ  
 一望十里 豊かなる 天与の幸の ありがたさ 産業おこり 家栄え  
 せいぎ しょうじん やくしん きぼう きょうど ひらかたし  
 生気はあふる やちまたに ああ精進に 躍進に 希望の郷土 枚方市

ひらかたし みわたすかぎり むかし ゆたか しぜん しぜん さち  
 枚方市には見渡す限りの昔からの豊かな自然・自然の幸があることはとてもありがたい  
 さんぎょう はってん けいざい はってん こうき まちなか  
 ことです。産業が発展し、経済が発展し、いきいきとした空気が町中にあふれています。

いっしょうけんめい どりよく はってん きぼう ひらかたし  
 一生懸命に努力し、めざましい発展をとげる、希望あふれるふるさと それが 枚方市。

いかがでしたか？ なかなか意味をとらえるのが難しい歌詞です。  
 ことば おぎなっていみ せいかく  
 わたしなりに言葉を補って意味をとらえてみました。なかなか正確な  
 いみ おったえ むずかしい  
 意味をお伝えするのは難しいです。  
 ひらかたし ぎょうじ うたわれます いみ  
 枚方市の行事ではよく歌われますので、こんな意味だなあと  
 おもいだしながらうたって たいへんうれしい ひらかたしか  
 思い出しながら歌ってくれたら、わたしは大変嬉しいです。枚方市歌を  
 みじかにかんじて  
 身近に感じてくださいね。



